

令和6年度 議会懇談会

～議員と語るこれからのまちづくり～

実施報告書

砂川市議会



令和6年11月12日(火)、市役所4階の市議会議場において「令和6年度議会懇談会～議員と語るこれからのまちづくり～」を2回に分けて開催し、市内外より34名の皆様にご参加をいただきました。

今回は、高校生からご高齢の方まで幅広い世代にご参加いただき、以下の4つのテーマに分かれて懇談を行いました。普段の生活に関する身近な困りごとから中・長期的な課題、砂川市の将来ビジョンに関する事など、それぞれの視点から多くのご意見やアイデア等が出され、活発な話し合いが行われました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

懇談で寄せられた貴重なご意見等は、議会として一つひとつをしっかりと受け止め、今後の議会活動に生かしていきたいと考えております。

今後とも、市民の皆様にとって身近で開かれた議会の推進に努めてまいりますので、議会活動に対するご理解・ご協力をお願いいたします。

テーマ	午後の部	夜間の部	担当議員			
A 人口確保対策	4人	3人	小黒 弘	山下 克己	鈴木 伸之	
B 子育て支援	5人	4人	水島美喜子	高田 浩子	是枝 貴裕	
C 暮らしやすい生活	5人	5人	中道 博武	武田 真	伊藤 俊喜	
D 駅前地区のにぎわい	3人	5人	沢田 広志	辻 勲	石田 健太	



閉会セレモニーを「模擬議会」形式で開催

ご来場の皆さんに本会議の臨場感を体験していただくため、参加者の皆さんから抽選で「議長」を選出し、議員が本会議と同様に挙手のうえ発言する「模擬議会」を開催させていただきました。

立派に議長役を務めていただいたお二方、誠にありがとうございました。



◇グループでの懇談内容 ※各グループで話し合われた内容を要約・抜粋して掲載しています。

■ Aグループ

「人口確保対策」 担当議員 小黒 弘、山下克己、鈴木伸之



<午後の部>

- ・何と言っても働く場所があることが大切。また、安心・安全な子育て環境や教育環境も重要。
- ・女性が働ける企業に比べて、男性が働ける企業が少ない印象。砂川に戻りたい思いがあっても受け皿がない。
- ・まちの魅力が必要。まちなか施設や有名な企業はあるが、それだけでは不十分。市の施策も重要。
- ・若者の定住や外からの移住も大切だが、長年砂川に住んでいる高齢者も大切にしてほしい。健康で元気な高齢者を増やす取り組みを行ってほしい。
- ・建設業では人材確保が困難。砂川高校に専科を設置したり、学校を誘致するなど、地元で人材育成する仕組みの構築が必要ではないか。
- ・砂川市が近年特に力を入れている子育て支援施策を市民や市外の人にもっと知らせるべき。
- ・SNSをもっと活用すると若い人が興味を持つ機会が増えるのではないか。
- ・子育てには娯楽施設も大切。まちなか交流施設は高校生も集える場所になるのではないか。
- ・議員がもっと全国各地の優れた事例や施策を調査するなど、情報を得てはどうか。

<夜間の部>

- ・砂川高校卒業生だが、18年前の当時から「砂高に行きたい」という生徒は少なかった印象。もっと砂川高校を魅力的にしてPRすれば、その後も定住してくれるのではないか。
- ・地元に残った人と市外に出た人は同窓会やSNSなどで縁は繋がっていて、その繋がりで砂川に戻ってくる同級生もいるが、働ける場所が少ない。家賃も高いので、砂川に戻ってきたくても、なかなか戻れないのではないか。
- ・砂川市のPRが足りない。観光客が110万人来ていると報道されているが、ハイウェイオアシスから市街に流れていかない。観光客がより多く訪れる土日のPR活動に力を入れ、市も議会ももっと外へ情報を発信すべき。
- ・新築住宅の建設費補助が高いという理由で近隣の自治体に家を建てる人が多い。市外業者と市内業者に差をつけずに、市外業者を使うけど砂川に家を建てたいという人にも住んでもらえれば良いと思う。
- ・市民は高齢化しており、市の除雪車が置いていく硬い雪への対策が必要。除雪ができないから札幌近郊など雪の少ないまちへ出ていく高齢者が多い。重機を持っている人へ除雪を頼める仕組みや各家庭への除雪委託費の補助など、除雪体制を構築してほしい。若い人が住む場所は砂川高校や義務教育学校の周辺に集まる傾向。それ以外の土地に住んでいる「除雪過疎」の人たちのことも考えてほしい。
- ・人口は減ってはいるが、住居のニーズは一定程度あるので、空き家マッチング事業は面白い取り組み。
- ・人口減少でこれから市立病院のベッドも空いてくるので、市立病院南館を手厚い医療が受けられる高齢者施設として活用できないか。
- ・他市町では道の駅と民間ホテルのPFI連携事例あり。砂川もハイウェイオアシスがあり、スマートインターがあるのだから、ハイウェイオアシス周辺を再開発すべき。そこにホテルがあれば観光客を取り込めるし、地元野菜直売所も売切れたら終了ではなく、地産地「商」をさらに充実させればもっと可能性が広がるのではないか。

■Bグループ

「子育て支援」 担当議員 水島美喜子、高田浩子、是枝貴裕



<午後の部>

- ・義務教育学校が令和8年に開校するころには子どもが1年生で、それを目掛けて砂川市に引っ越したいとは思っているが、利便性の良い滝川から砂川に引っ越すことがネックになっている。今までにない形の学校は魅力的なのでぜひ通わせたいが、砂川では住む場所が課題になってしまう。
- ・子育てに関する悩みを自由に話せるサロンのようなものがあったら良いのではないかな。
- ・砂川市は高齢者にとっても優しいまちになってきていて、一人ひとりを気にしてくれている。お礼として学童保育や挨拶運動にも積極的に協力しているが、もっと高齢者を使ってほしい。高齢者にとっても良いことで、元気になると思う。家族単位では世代の構成が崩れてしまっているが、大きい単位では何とか助け合いが広がれば子育て環境がもっと良くなるのではないかな。
- ・まちなか交流施設に3世代交流できる場所、保育園にも幼稚園にも通っていない子どもを自由に預けられる場所を作ったらどうか。
- ・学校に地域の人が参画して子どもたちと触れ合うことは双方にとってとても良いことなので、積極的に関わっていくべき。
- ・小学校の跡地利用が未定なので、どこか1箇所でも地域の保護者や子ども、高齢者など誰もがいつでも気軽にふれあえる空間があると、子育てしやすくなると思う。

<夜間の部>

- ・将来は生まれ育った砂川で子育てしたいと思っているので、子どもにかかる費用の無償化が進んでいると聞いて安心した。
- ・無償化というのは親世代はすごく魅力ではあるので、子育てしやすいようになってくると感じている。
- ・砂川高校の検定費補助があることで様々な検定を無料で受けられ、それが自分の強みになっているし、とても助かっている。
- ・近隣の義務教育学校の生徒に聞くとみんな仲が良いと聞いた。校舎も新しくなるので、自分の時にあれば通いたかった。
- ・子育ては周囲の協力があってこそだと思う。
- ・子どもは0歳、産んだ方も親としては0歳なので、一緒に育っていけるような、子育てを教えてもらえる制度や環境があれば良いと思う。
- ・共働きが多く、子どもに何かあったら母親が休むケースが大半で、夫が休みづらい。両親も定年延長の関係で預けられないので、有給もなくなってしまう大変という家庭もある。育休は男性でも広がって来ているが、もう少し男性の有給も取りやすい風潮になると良いと思う。
- ・自分は転校してきて習い事のことを全く知らなかったなので、もっと習い事の情報が発信されれば子どもたちの経験や成長につながると思う。
- ・まちなか交流施設に子どもが遊べる場所や学生が自習できるスペースがあると子育て支援につながるだけでなく、より交流が深まり、にぎわいが生まれると思う。

■Cグループ

「暮らしやすい生活」担当議員 中道博武、武田真、伊藤俊喜



<午後の部>

- ・子育て支援で費用が無料というのも大事だが、小学生の通学路が積雪で歩けないし車道に出なければならず、安全が確保されていない。子育て支援と言うが、子どもが一番大事なのではないか。
- ・砂川は雪が多く、移住や人口確保への弊害になっていると思う。冬の暮らしをどうするか、雪対策に今より多くの予算をかけ、除排雪をもっとしっかりと行うべき。
- ・冬の除排雪が一番の問題だと思う。特に高齢者の家の前に硬い雪が残されると大変。
- ・子どもが必ずしも親の面倒を見てくれるわけではないので、老後が不安。すぐに施設に入れるかどうか心配なので、砂川に長く住み続けるための高齢者支援をしてほしい。
- ・子どもたちの遊び場が圧倒的に少ない。子どもたちにとっての暮らしやすさも考えて、昔の中央小保護者が作ったスケートリンクのような、管理された安全な遊び場を作ってあげてはどうか。
- ・道内の他市では廃校校舎の体育館を利用して室内遊具施設を作ったりしているが、砂川は子どもの国だけでは飽きてしまうし、遊び場がないので、滝川や札幌に行ってしまう。
- ・海洋センター南側の公園は壊れている遊具がいつまでも直されていない。危ないし、使えないなら撤去してほしい。その向かいのテニスコートも草が生え放題。住みやすいまちとは程遠いのでは。
- ・バスや乗り合いタクシーを含め、1時間に1本では交通の便がとても悪い。高齢化社会も進み免許返納も増えてくると思うので、交通の便を良くしてほしい。人の往来があってこそ活気につながるし、移動手段がないとまちは潤わない。
- ・冬（除雪）の大変さを見ているので、雪の少ないまちで就職したいと思ってしまう。

<夜間の部>

- ・駅のエレベーター設置を何とかしてほしい。免許返納も検討するが、バスの減便も暮らしにくい要因の一つ。乗り合いタクシーも予約が手間なので、市内循環バスを走らせてほしい。
- ・図書館が学校から少し遠く不便。Wi-Fiは使えるが飲み物は飲めないので、一度図書館から出ないといけない。滝川市の図書館は飲み物を飲みながら勉強できるので、砂川市の図書館も改善してほしい。
- ・市内にフードコートやカフェのようなところがあると勉強しやすい。
- ・今年の春にフランスに留学したが、砂川高校は滝川の高校と比べて支援がなく、手続きがとても大変だった。砂川高校で留学をしたのは自分が初だったが、外国の異文化を体験すると本当に価値観が変わるので、留学事業者との連携など、国際交流制度があれば砂川高校の後輩方も助かると思う。
- ・メモワールわしおから昇陽橋までの市道は、穴を塞いただけで凸凹が多いので改善してほしい。
- ・市道の信号機のない交差点で草が生い茂っていると安全確認が出来ず危険なので草刈りをしてほしい。
- ・札幌の専門学校に進学し、臨床工学技士を取得したら道外の大学病院で経験を積み、砂川市立病院で勤めたいと考えているが、砂川市立病院の離職率が高いと聞いているので職場環境が不安。
- ・砂川看護専門学校に進学を希望しているが、クーラーが設置されていないと聞いているので、勉強しやすい環境を整えてほしい。
- ・高校生は服屋やプリクラ、高齢者は靴屋や電気屋など、どうしても滝川市に行ってしまう。
- ・市営住宅は収入超過で退去せざるを得なかったが、市内の家賃相場は非常に高い。娘も砂川で一人暮らしをしたくても難しい。低所得者優先は理解するが、空室を柔軟に活用してほしい。

■Dグループ

「駅前地区のにぎわい」担当議員 沢田広志、辻 勲、石田健太



<午後の部>

- ・ 駅前の空き家（店舗）が何十年もそのままなので、何とかすべき。
- ・ 駅を降りて右側のベンチがある公園は、木が高すぎて日が当たらず、暗くて危ないので伐採すべき。
- ・ まちなか交流施設の食堂は食べながら話ができる場所にしてほしい。
- ・ まちなか交流施設の駐車場とトイレを24時間使用可能にしたり、お菓子屋さんの商品を一箇所で販売するアンテナショップなど、道の駅のように活用してはどうか。
- ・ まちなか交流施設に観光協会が入るのであれば、しっかりと観光情報を発信してほしい。
- ・ 駅前地区に、観光客のキャリーケースなど荷物を預ける場所を整備すべき。

<夜間の部>

- ・ まちなか交流施設でフリーマーケットや物販など出来ないか。目的がないと人は来ない。
- ・ 駅前は砂川の顔だが、あの古い建物は怖い。また、駅のキヨスクがなくなり乗車前に買い物するところもないし、駐車場も狭い。明るい雰囲気になってほしい。
- ・ 高校生や若者が集って勉強したりご飯を食べたり、「集まりたい場所」がほしいので、まちなか交流施設をそのような施設にしてほしい。高校生はショッピングセンターやファミレスがないので滝川に行く。
- ・ まちなか交流施設を砂川高校の学校祭で利用できないか。学校祭ではバンドを組んでライブを披露するので、広場でそんなこともできたら。
- ・ キッチンカーを駅とパークホテルの間の公園に置けるようにしてはどうか。
- ・ まちなか交流施設でスイートロードの商品を一箇所で販売すると、地方から人を呼べるのではないか。ハイウェイオアシスのようにお土産を買える場所にしてはどうか。ご当地自販機を置くのも良い。自宅に眠っているピアノを提供してもらい、「自由に弾けるピアノ」を置くのも面白い。

◇全体での記念撮影



午後の部



夜間の部

◇アンケート集計結果

参加者数 34名（午後の部 17名、夜間の部 17名）

回答者数 31名（回収率 91.2% うち アンケート用紙 24名 インターネット回答 7名）

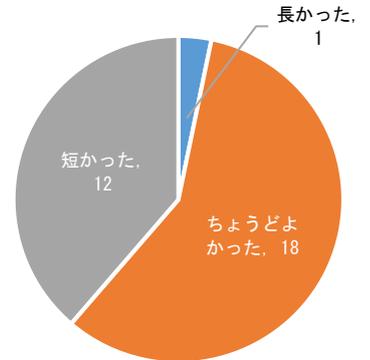
問1 議員との懇談について

① 懇談を実施したことについて	回答者数	構成比
ア 評価する	31	100.0%
イ どちらとも言えない	0	0.0%
ウ 評価しない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

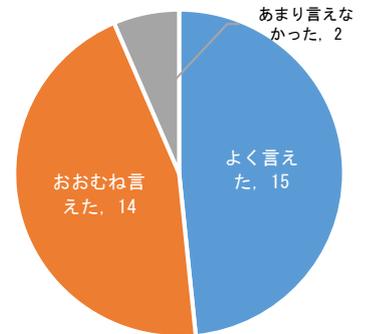
② 懇談の時間について	回答者数	構成比
ア 長かった	1	3.2%
イ ちょうど良かった	18	58.1%
ウ 短かった	12	38.7%

③ 懇談で意見等を言えましたか	回答者数	構成比
ア よく言えた	15	48.4%
イ おおむね言えた	14	45.2%
ウ あまり言えなかった	2	6.4%
エ 全然言えなかった	0	0.0%

懇談の時間について



懇談で意見等を言えましたか

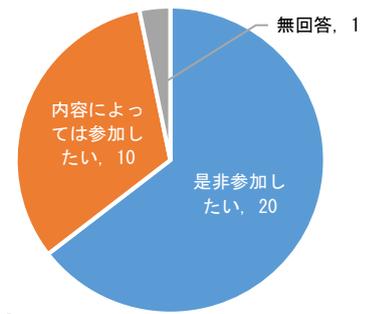


④ 自由記載

- ・初めて参加してとても有意義な時間となった。高校生がこのような場で大人と意見交流できたのが大きな成果であった。あっという間に終わったという声も聞かれて、充実した時間であった。今後も高校生と交流の場を設けていただけるととてもありがたい。個人的にはもう少し深い話もしたかったが、また参加したいと思った。
- ・砂川市の子育て支援について、いろいろな方とお話できてとてもいい経験になりました。将来、結婚して子供を産んだら是非この砂川市で子育てをしていきたいです。また、砂川市の検定補助をこれからも続けてほしいと思いました。この砂川市で活躍する若者をどんどん増やしていく活動を考えていきたいと思います。
- ・参考になった。
- ・市民の声をお互いに聞くことは大切であると思いました。問題を解決するためには、市との連携も欠かせないと思います。是非暮らしが良くなるために「行動力」をお願い致します。
- ・時間的に少なすぎる。
- ・大変になりました。
- ・高校生が参加するのはとても良かった。自分自身のこれからの参考になりました。
- ・話しやすい雰囲気とてもよかった。
- ・砂川市に対して思っていたことを言えたり、いろんな方の話を聞いたりできて、とても良い機会になりました。
- ・みなさんがとても話しやすい雰囲気を作ってください、高校生でも意見が言いやすかったです。

今後、議会懇談会があれば参加しますか

問2	今後、議会懇談会があれば参加しますか	回答者数	構成比
ア	是非参加したい	20	64.5%
イ	内容によっては参加してもよい	10	32.3%
ウ	たぶん参加しない	0	0.0%
	無回答	1	3.2%



問3 その他、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。
今後の参考にさせていただきます。

- ・色々勉強になりました。ありがとうございました。高校生も参加していたことが良かったです。
- ・まちづくりに協力隊等のお手伝いを考えてみたらいかがでしょうか。
- ・議員の皆さま、市の職員の方々は今後どのように生かしていきますか？
- ・今日発言した事が一日でも早く実現出来ます様に願っています。
- ・もっと準備も簡単で良いので（大変なので）、こんな機会が何度もあるといいなと思います。よろしくをお願いします。
- ・とても有意義な会議でした。すばらしかったです。
- ・議員の方も今後社会見分してほしい。質問等も議会だよりも一定の方しか質問していないので、各人の質問を待っています。
- ・こういう機会がもっとあれば良いと思います。
- ・市長を交えた懇談会の開催が必要（重要）と考えます。
- ・2部開催お疲れ様でした。
- ・Bグループの司会進行がすばらしくて話しやすく楽しいひとときを過ごしました。
- ・子育て世代にアンケートを取って今必要な物を作っていただければと思います。ありがとうございます。
- ・砂川市についてこれからも探求していきたいなと思いました。本日はありがとうございました。
- ・なかなかいろんな世代の方と交流する機会が少ないので、いろんな事を吸収して良い経験になった。
- ・この度は高校生と一緒に参加させていただき有り難うございました。終了後、生徒達は自分の意見や考えを聞いていただけたことに非常に満足感と達成感を味わえたようで有意義な時間を過ごせたと喜んでおりました。たとえば今後、議員さんと高校生だけの懇談会などを開催していただき、学校で取り組んでいる「砂川市を活性化するための取組」などを砂川市に直接提案していただくなど、若い世代の子どもたちが街づくりに興味をもって参加できるようになったら良いかなと思いました。生徒達が「また参加したい」「砂川で就職したい」などと話しており、短い時間でしたが街づくりを自分事として考える良い機会だったと思います。今回は学校として参加することの許可が下りず、個人参加という形で生徒を引率しましたが、他にも砂川高校や砂川市をより良くしていきたいという考えを持っている教員もいますので、教員と議員さんの懇談会なども企画していただけたらありがたいと思います。ぜひ砂川高校にもお越し頂き生徒の様子などをご覧いただけたらと思います。今後もよろしくお願いいたします。

<発行・お問い合わせ先>

砂川市議会事務局

〒073-0195 砂川市西7条北2丁目1番1号

TEL 0125-74-8796 FAX 0125-54-2568

市議会ホームページ 令和6年度議会懇談会実施報告書

<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/gikaihoukokukai.html>



二次元バーコード